大槌町教育委員会だより





先生も大槌とつながり、学びを広げました

大槌町教育委員会では、今年度大槌町内各学園に転任した教員などを対象に7月26日(火)町内研修会を 実施しました。「桃畑養魚場」「大槌孫八郎商店」を訪問し、おしゃっちでは「大槌ジビエ」「震災伝承」に ついて話を聞きました。参加した先生からは、「大槌について特産について、たくさん知ることができた」「子 どもたちにも伝えたい」「『ふるさと科』の学びのヒントになった」と好評でした。

「大槌サーモン」と「桃畑学園サーモン」の違いは?

桃畑養魚場·大槌孫八郎商店見学



海の養殖場で育てれ ば「大槌サーモン」、 桃畑養魚場で育てれ ば「桃畑学園サーモ ン」になることを学 びました。



「害獣」を「まちの財産」に 大槌ジビエ



「週1回は食卓に鹿肉が上がるように頑張りたい」 と熱い思いを聞きました。やわらかくて美味しい 鹿肉のしゃぶしゃぶを食べました。

忘れない 伝える 備える 震災伝承



大槌学園5年生のイトヨ学習 ふるさと科

震災前から源水川の湧水やイトヨを調査し ている森誠一教授(岐阜協立大)の講義を受 けた後、町郷土財活用湧水エリアでイトヨを 含めた自然生態系を観察しました。子どもた ちは時間が足りなくなるほど多くの質問を森 先生に寄せ、町とイトヨの関わりについて学 びを深めました。その後、3つの湧水池の命 名に向け、学年全員で知恵をふり絞りました。 各池の名称は乞うご期待!



大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします!



、槌高校の note でも 行事等の様子を 発信しています

1日体験入学を開催しました!

7/28 (木) に大槌高校の 1 日体験入学が行われ、大槌町と釜石市の各中学校から合計 89 名の中学 3 年生が 来校しました。今回は、その様子をお伝えします。







1日体験入学は、①全体会、②マイプロジェクト発表会、③部活動見学の3部構成で行いました。 第1部の全体会では、生徒会執行部に所属する生徒の進行を務め、生徒会執行部の紹介や、大槌高校な らではの取り組みである「はま研究会」と「復興研究会」の活動紹介が行われました。参加した中学生か らは、「海に興味があるので、はま研究会の活動が気になっていた」や「防災に興味があり、大槌高校に入 学できたら、復興研究会に入りたいと思っている」といった声が聞かれました。





第2部のマイプロジェクト発表会では、昨年の 県大会で入賞を果たした8名をはじめとする12 名の生徒が、自らの活動に関する発表を行いま した。発表後には、「大槌高校に入学しようと思 った理由しや、「大槌高校に入学して良かったと 思うこと」といった内容の質問が中学生から寄せ られ、自分の言葉で真剣に回答していました。

第3部の部活動見学では、見学に来た中学生 を温かく迎え入れ、積極的に活動の紹介や、部 員との交流を促す高校生の姿が見られました。 参加した中学生からは、「先輩方が楽しそうに活 動していたしや「雰囲気がよく、安心して参加 できた」といった声が聞かれました。





今年度は、釜石市内の中学校からの参加者が例年よりも増加しました。また、明確な目標を持って大槌 高校への入学を検討している中学生が多く見られ、大槌高校が、町内だけでなく近隣自治体からも注目さ れる高校になってきたことが感じられました。今後も地域のみなさまの協力を得ながら、たくさんの人に 注目され、「入学したい」と思ってもらえるような学校づくりを進めていきます。

1日体験入学の

大槌学園 43名

吉里吉里学園

釜石中学校 釜石東中学校 大平中学校 13名

甲子中学校 1名

参加者内訳

10名 6名

16名

●先輩や先牛方が手厚くサポートをしてくれる環境があって、とてもいい高校だと思いました。(中学生)

- ●マイプロジェクトは、自分の興味のあることをテーマにして学べるのがとても魅力的でした。(中学生)
- ●生徒主体で進めているマイプロがとても面白かった。自分の興味のあることに関して探究することが、自分 の強みを見つけることに繋がっていると感じました。(中学校教員)
- ●どの発表も、その活動に参加する生徒自らが行っていて、生の声を聞くことができたのが良かった。中学生 も大槌高校ならではの良いところを理解しやすい内容だったと思います。(中学校教員)
- ●研究やマイプロなど、高校時代に人との協議・議論や関わりを持つ経験はとても有意義だと思います。勉強 以外の様々な経験から学ぶことができて、とても将来性のある学校だと思いました。(保護者)

15 広報おおつち 2022.9 OTSUCHI TOWN | 14